

校長室だより

岸和田市立浜小学校 校長：山崎 洋

No. 67 R7(2025)/10/16

「明日も笑顔！ 未来も笑顔!! ～つなげよう“信頼”～」

☆がんばれ、教育実習生！ その2

No.66では「今年は本校に教育実習生が来ています、実習生には指導教官が付きます」というお話をしました。今日はその続きを。

指導教官＝お世話係の仕事の中心は、実習生の授業の指導です。まず、先生を任される以上、授業ができないことには話になりません。その授業も、当然のことながら教科書を見てぶっつけ本番でやるわけではありません。教科書を熟読し、子どもたちに何を学ばせたいのか確認し、どのようにすれば子どもが効果的にそれを身に着けることができるのかを、時間配分も考慮しながら、綿密な計画を立てます。指導教官は、その計画書（学習指導案といいます）を見て、よいところ、まずいところ、改善案を話し合っていきます。

計画ができ、実際に授業をしてみても、多くの場合はうまくいかず、反省材料ばかりが出てきます。授業の初心者ですから、それは当たり前のことです。授業後にそれを話し合い、反省を生かして次回の授業につなげていく…ということを繰り返していきます。

先生の仕事の中心は授業ですが、もちろんそれだけではありません。朝の会・休み時間・給食・掃除・クラスルームから、教材づくり・ノートチェックやマル付け・連絡帳や家庭連絡など、多くの仕事があります。それらのすべてが、実習生の学習材料となります。

私が教育実習についてこのように熱く語るのは、私自身が担任をしていたとき、この指導教官という仕事を引き受けるのが大好きだったからです。これまで6人の若者を指導しました。彼ら彼女らが、現在進行形で教育現場で活躍している話を聞くと、それはそれは嬉しく、そしてちょっぴり誇らしい気持ちになるのです。